

近畿本部 情報工学部会 2 月度例会の案内

◇日時：2020年2月8日(土)13時～17時

◇場所：大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル5階 会議室

地図：<https://goo.gl/n6vsI9>

◇会費：日本技術士会会員(1000円)、未入会者(2000円)、学生(無料)

◇申込および問合せ先：info@jyouhou.ipej-knk.jp

<プログラム>

1. 運営(幹事)会 13:00～13:40

◇本年度幹事(敬称略、順不同)

天野、加賀谷、鍛冶、川本、佐藤(力)、隅田(清)、野原、東山、柏原、北村、本多、榭一、山口

2. 講演 14:00～15:15 大川 哲男 技術士(情報工学)

『ディープラーニングを使いこなすには』

(概要) 最近、「AIを使って何かしたい」という話をよく耳にする。

私は監視制御ソフトウェアの設計が専門で、AIの専門家ではない。

しかし、社内外からは「監視制御にもAIを使って何かできないのか」といった声がたびたび上がってくる。そこで、私も今後のことを考え、AIに取り組むことにした。AIといっても幅が広いので、近年の主流であるディープラーニングを使いこなすことをまずは目指そうと考えた。

今回、その試行錯誤して取り組んだ体験をもとにディープラーニングを使いこなすために必要な知識、考え方、問題点や留意点などについてお話する。

3. 講演 15:25～16:40 須崎 純一 氏(京都大学准教授)

『時系列衛星 SAR 画像を用いた三次元地盤変動解析』

(概要) 人工衛星搭載型合成開口レーダ(synthetic aperture radar: SAR)により取得された時系列画像に対し、Persistent Scatterers Interferometry (PSI) 手法を適用することで広範囲の地盤沈下を高精度に測定できる。しかしながら、推定される変動は衛星から地上を見た視線方向に沿う一次元変動である。

よって本研究では、離散的に得られた GPS データと、上昇軌道と下降軌道の画像に対する PSI の推定値を組み合わせることで、地盤変動の三次元変動推定を試みた。東西成分、南北成分、鉛直成分に関して、それぞれ良好な結果を示し、提案する統合手法は、広範囲の地盤沈下の監視に効果的であると判明した。

4. 16:40～ 連絡事項

5. 17:00～ 懇親会

3月例会は第二土曜日の

3月14日(土)開催予定です。

